

小学生版

あたらしい児童書

NO. 315 2025. 11. 24

遠軽町図書館
遠軽町大通南4丁目
TEL42-3632
FAX49-2102

本が見あたらないときは、かかりの人に聞いてね。予約もできます。新しい本は他にもあります。
小初は1・2年、小中は3・4年、小上は5・6年をめやすにしてください。

『ルルとララのふわふわオムレット』 あんびる やすこ／作・絵

・マナー教室の先生・モリーへの誕生日プレゼントを手作りしている、あなぐまのリラとベス。そんな2匹を励ますために、ルルとララが考えたのは「オムレット」で…。オムレットの簡単レシピをもりこんだ楽しいお話。(小初)



『まほうのアブラカタブレット いたずらコンビけっせい!?』 如月 かずさ／作

・いつもひとりで暗い顔をしている、転校生のうたちゃん。うたちゃんに笑ってほしいこたろうは、ふしぎなアプリ「アブラカタブレット」を使って、驚かせようとしては…。(小初)



『人魚ひめ』 ハンス・C.アンデルセン／原作

・人間の王子さまに恋をした人魚ひめ。魔法の力で人間になり、人間の世界へ行きますが…。人魚ひめは、王子さまの愛を得ることができるのでしょうか? 陶板で描く、いちずでひたむきな愛の物語。(小初)



『おじいちゃんのおばけのはなし』 ジェームズ・フローラ／さく

・かみなりが鳴る夜、おじいちゃんは森で迷子になった話をしてくれた。でも、おじいちゃんは「この先は、怖い話になるから、やめておこう」と言う。「えー、お話して!」と、ぼくはおじいちゃんにお願いして…。(小初、小中)



『アーノルド・ローベルものがたり がまくんとかえるくんとぼく』 エミー・キャスナー／作

・時代が変わっても愛され続ける子どもの本の作家、アーノルド・ローベル。彼は物語を、心で感じたように、目で見たとおりに書き…。アーノルド・ローベルの人生と仕事を描いた絵本。(小初、小中)



『じごく小学校 6 えっ!おどろいてはいけない体験学習!?』 有田 奈央／作

・校長先生から招待状をもらい、じごく小学校にやって来た板図良強さん。そこで、じごく小学校のみんなと、「おどろいても声を出してはいけない体験学習」をすることに。強さんは、最後までがまんすることができるのでしょうか?(小)



『みちのく妖怪ツアー 8 プレイミュージアム編』 佐々木 ひとみ・野泉 マヤ・堀米 薫／作

・東北を巡回する「みちのくの伝統文化にふれるプレイミュージアム」が大人気。ところが、子どもたちは、伝統文化を楽しむうちにありえない体験をすることに…。「手長」など、怪異に巻き込まれた子どもたちの物語全6編を収録。(小中)



『ラッコの海を守れ! マジック・ツリーハウス 54』

メアリー・ポープ・オズボーン／著

・スキューバ・ダイビングでカリフォルニアの海を探検することになった、ジャックとアニー。だがそこで大けがをしたラッコとその子どもを見つけて、助けようとするが…。(小中、小上)



『アイとムリ』 デイヴ・エガーズ／作

・光の速さで走ることができる、誰からも見えない存在の「犬」のヨハネスは、仲間と暮らす公園で、彼にしかできない役割を担っている。それは、“アイ(目)”となって公園を観察し、バランスの守護者に変化を報告することで…。(小中、小上)



『どろぼう猫とトキメキのリボン』 小手鞠 るい／作

・ぼたんちゃんは、猫のリボンの(人間の)ママ。職業は、作家。ぼたんちゃんの娘で、小学5年生のカミラは、食いしん坊で元気いっぱい!なのに、今日はなんだかおかしくて…。『どろぼう猫』シリーズ第4弾。(小中、小上)



『双子のピアノ』 倉本 由布／著

・楽器博物館で出会ったデュオ・ピアノに魅せられた双子のピアノ弾き。ある日、妹の水絃がデュオ・ピアノに棲みついていた霊に、取り憑かれてしまい…。身近な人と自分を比べ、悩みを抱えながらも、立ち向かっていく物語。(小上)



『異世界フルコース 召喚されたのは、チキンでした。』

廣嶋 玲子／作

・お小遣いを貯めて買ったフライドチキンを食べようとした瞬間、異世界に召喚されてしまった尾巻啓介。そこはおいしいものがなんにもない世界。ヘンテコな材料から食べられるものを見つけ出し、おいしい極上の料理を作り出せ!(小上)



『千年先のあなたへ』 佐藤 まどか／作

・おねえちゃんの仕事が知りたくて、宮大工の仕事場見学に行った杏。そこで、棟梁とよばれる人の話を聞いて…。日本の社寺建築にたずさわる宮大工の職人たちの現場を、杏の目を通して描く。(小上)



『ツバメの親子はどこにいる』 榎崎 茜／作

・小学5年生の明照は、白杖をもって弟の音晴の入学式に来た母の姿をからかってきたクラスメイトたちと、取っ組み合いのケンカになり…。視覚障害者の両親のもとに生まれた兄弟の成長を描く。(小上、中)



『パッチーズ ぼくらがつなぐ小さな世界』 佐藤 まどか／作

・柊はある日クラスメイトと揉めた拍子に、フーディの左肘の生地をすりきらせてしまう。そこで考えたのは「パッチ」だった。学校生活、家庭事情、お金のこと…悩める中学2年生・柊のパッチワークストーリー。(小上、中)

